

ASBJ Newsletter



目次

1. 企業会計基準等の開発（2013年6月1日～2013年7月31日）
2. 企業会計基準委員会の概要（第266回～第269回）
3. IASB及びFASBに対するASBJのコメント（2013年6月1日～2013年7月31日）
4. 第18回基準諮問会議を開催
5. IFRSのエンドースメントに関する作業部会の設置と委員の選任
6. 評議員、理事、監事等の選任
7. お知らせ
 - 1) 刊行物のご案内
 - 2) 開示実務新任者向けFASFセミナーのご案内
 - 3) ASBJオープン・セミナーのご案内

《ご注意》本文中のハイパーリンク先につきましては、一部、財務会計基準機構の会員限定サイトとなっており、一般の皆様にはご覧頂けないこともございます。あらかじめご了承ください。

1. 企業会計基準等の開発 (2013年6月1日～2013年7月31日)

1) 【ED】実務対応報告公開草案第39号「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い(案)」の公表 (2013年7月2日)

【凡例】

ED：公開草案

Final：会計基準/適用指針等(最終)

2. 企業会計基準委員会の概要 (第266回～第269回)

1) 第266回 (2013年6月13日開催)

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">a. 金融資産の減損に関するFASB及びIASBの公開草案へのコメント対応についてb. IASB公開草案「リース」に関する意見募集c. 信託を通じた自社株式交付取引の会計処理の検討d. 企業結合(ステップ2)の検討 |
|--|

- a. FASB公開草案へのコメントレター(案)及びIASB公開草案へのコメントの方向性について説明がなされ、審議が行われました。
- b. IASBがFASBとともに2013年5月16日に公表した改訂公開草案「リース」に対するコメント対応の検討が行われました。
- c. 従業員持株会に信託を通じて自社の株式を交付する取引と受給権を付与された従業員に信託を通じて自社の株式を交付する取引を対象とし、公開草案の公表に向けた文案の検討が行われました。
- d. 最終基準化に向けて、資本剰余金がマイナスとなった場合の取扱い(四半期連結会計期間末又は中間連結期間末の取扱い)、持分法適用会社(関連会社、非連結子会社)

の追加取得や一部売却等の会計処理などの検討が行われました。

2) 第267回 (2013年6月27日開催)

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">a. IASB公開草案「金融商品:予想信用損失」へのコメント対応についてb. IASB公開草案「リース」の概要c. IASB「ディスカッション・フォーラム:財務報告開示フィードバック文書」の概要d. 実務対応報告公開草案「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い(案)」(公表議決)e. 無形資産に係る検討経過のとりまとめについてf. 企業結合(ステップ2)の検討g. 保険契約専門委員会の設置について |
|---|

- a. IASB公開草案「金融商品:予想信用損失」へのコメント文案の検討が行われました。
- b. IASBがFASBとともに5月16日に公表した改訂公開草案の概要(リースの分類、借手の会計処理、貸手の会計処理)についての説明がなされ、審議が行われました。
- c. IASBが5月28日に公表したフィードバック文書の説明がなされ、IASBの短期的対応と中期的対応などについて質疑応答が行われました。
- d. 実務対応報告公開草案「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い(案)」について説明がなされ、審議・採決が行われ、字句等の修正は委員長に一任することを前提に、出席委員全員の賛成をもって公表することが承認されました。
- e. 無形資産に係る会計基準についての検討経過の取りまとめ文書の審議が行われ、了承されました。
- f. 企業結合(ステップ2)の公開草案に対するコメントへの対応について説明がな

され、審議が行われました。

- g. 保険契約専門委員会の設置、並びに専門委員長及び専門委員の選任について説明がなされ、承認されました。

3) 第 268 回 (2013 年 7 月 10 日開催)

- a. IFRSのエンドースメント手続に関する計画の概要
- b. 会計基準アドバイザー・フォーラム (ASAF) 電話会議の概要
- c. リース会計専門委員会における検討状況
- d. のれんに関するリサーチのフィードバック文書について
- e. 企業結合(ステップ 2)の検討

- a. 2013 年 6 月 19 日に企業会計審議会から公表された「国際会計基準(IFRS)への対応の在り方に関する当面の方針」を受け、IFRSのエンドースメント手続に関する計画の概要(案)について説明がなされ、審議が行われた。
- b. 7 月 3 日に電話会議方式で行われたASAFでのIASB公開草案「金融商品:予想信用損失」の討議状況の報告が行われました。
- c. IASBの改訂公開草案に対するASBJからのコメント・レターの検討を進めるにあたって、①借手において原則としてすべてのリースをオンバランス処理すべきことに同意するか、②借手において異なる費用パターンのリースを分類する要件に同意するか、③貸手において異なる収益パターンのリースを分類する要件に同意するかなどについて検討が行われました。
- d. 国際的な議論への貢献を目的として、のれんの減損と償却に関するASBJが取り組んできたリサーチに関して、関係者から得られた情報を取りまとめた「のれんの減損及び償却に関する質問票及び意見交換会に関するフィードバック文書(案)」につ

いて検討が行われ、公表することが了承されました。

- e. 最終基準に向けて、子会社株式を一部売却した場合等に生じた法人税等の取扱い、非支配株主との取引に係る個別財務諸表上の取扱い等、公開草案に対するコメントへの対応について検討が行われました。

4) 第 269 回 (2013 年 7 月 25 日開催)

- a. 基準諮問会議からの報告
- b. リース会計専門委員会における検討状況
- c. IFRSのエンドースメントに関する作業部会の設置について
- d. 企業結合(ステップ 2)の検討

- a. 財務会計基準機構内に設けられている基準諮問会議から①繰延税金資産の回収可能性の会計処理に関する調査、②リストラクチャリングに関連する会計処理の調査・検討がASBJに依頼されたことなどが説明され、審議が行われました。
- b. IASBの改訂公開草案に対するASBJからのコメント・レターの検討を進めるにあたって、①契約にリースが含まれるか否かの判定、②借手における契約の中の構成部分の識別と対価の配分、③貸手における契約の中の構成部分の識別と対価の配分、④短期リース、⑤変動リース料について検討が行われました。
- c. 企業会計審議会の提言に基づきASBJでIFRSのエンドースメント手続を進めていくうえで詳細な検討を行うための作業部会の設置及び同部会の委員の選任が了承されました。
- d. 最終基準に向けて、公開草案に寄せられたコメントを踏まえて対応を検討してきた点に関して、企業結合会計基準や連結会計基準の改正文案の追加・修正の検討が行われました。

3. IASB及びFASBに対するASBJのコメント(2013年6月1日~2013年7月31日)

- 1) [会計基準更新書案「金融商品—信用損失\(サブトピック 825-15\)」に対するコメント](#)を提出(2013年6月18日)
- 2) [公開草案「金融商品：予想信用損失」に対するコメント](#)を提出(2013年7月5日)

4. 第18回基準諮問会議を開催

2013年7月16日、第18回基準諮問会議が開催されました。

会議では、「企業会計基準等の開発に係る適正手続に関する規則」の制定についての報告が行われた後、ASBJが実施するIFRSのエンドースメント手続に関する計画案の概要について説明が行われました。続いて、前々回、前回の基準諮問会議において提案された新規テーマに対する対応について審議を行った結果、「繰延税金資産の回収可能性(JICPA監査委員会報告第66号関連)」、「リストラクチャリングに関連する引当金」及び「早期割増退職金の会計処理」については、影響や会計基準等の開発が可能であるか否か等の調査・検討をASBJへ依頼することとなりました。その他のテーマである「継続企業の前提が成立していない状況で適用する会計基準の開発」については、特別目的の財務諸表の監査に関する企業会計審議会の結論が出た段階で検討行うこととなり、「ポイント引当金」については、保留するテーマとなりました。

なお、今回の基準諮問会議であらたに提

案されたテーマである「後発事象」については、現在検討を中断しているもののASBJの審議中のテーマであるため、次回基準諮問会議でASBJにおける状況の報告を受け、「完全親会社が完全子会社に無対価会社分割で事業を移転する場合の会計処理」及び『「企業結合に関する会計基準」に係る条件付取得対価の取扱い』については、実務対応専門委員会に新規テーマの評価を依頼することとなりました。また、ASBJより「ASBJの最近の活動状況」についての報告がなされ、意見交換が行われました。

5. IFRSのエンドースメントに関する作業部会の設置と委員の選任

2013年6月19日付で企業会計審議会から公表された「国際会計基準(IFRS)への対応のあり方に関する当面の方針」においては、IFRSのエンドースメントについて「具体的なエンドースメントの手続については、まず、会計基準の策定能力を有するASBJにおいて検討を行い、さらに、現行の日本基準と同様に、ASBJが検討した個別基準について、当局が指定する方式を採用することが適当である」とされています。これを受けて、今後、ASBJにおいてIFRSのエンドースメント手続を進めていきますが、当該検討にあたり「IFRSのエンドースメントに関する作業部会」を設置することと致しました。委員の構成は、以下のとおりです。

部会長：小賀坂 敦(企業会計基準委員会副委員長(常勤))

委員：関口 智和(企業会計基準委員会委員(常勤))

委員：今給黎 真一(株式会社日立製作所 財務統括本部財務一部担当部長)

委員:加藤 治永(住友商事株式会社 総合経理部 部長代理アカウンティングリサーチチームリーダー)

委員:高畑 修一(三菱重工業株式会社 経理総括部 主席部員)

委員:戸村 直大(株式会社東芝 財務部 主計担当グループ長)

委員:山床 眞一(新日鐵住金株式会社 財務部 決算室主幹)

委員:貝増 眞(日本証券アナリスト協会 教育第1企画部長)

委員:熊谷 五郎(みずほ証券株式会社 経営調査部 上級研究員)

委員:秋葉 賢一(早稲田大学商学大学院教授)

委員:万代 勝信(一橋大学大学院教授)

委員:小倉 加奈子(有限責任あずさ監査法人 公認会計士)

委員:岸上 恵子(新日本有限責任監査法人 公認会計士)

委員:古内 和明(有限責任監査法人トーマツ 公認会計士)

委員:紙谷 孝雄(企業会計基準委員会 ディレクター(総括担当))

委員:板橋 淳志(企業会計基準委員会 ディレクター(金融担当))

委員:川西 安喜(企業会計基準委員会 ディレクター(国際担当))

委員:荻原 正佳(企業会計基準委員会 トランスレーション・プロジェクト・マネージャー)

委員:井口 勉(企業会計基準委員会 専門研究員)

6. 評議員、理事、監事等の選任

FASFでは、2013年6月14日評議員会、6月17日理事会決議、6月28日評議員会決議により、以下のとおり、評議員、理事、

監事等を選任しました(下線付は新任。役職名は選任当時のもの)。

1. 評議員(11名)

評議員会議長:山崎 彰三(日本公認会計士協会 会長)

評議員:安藤 英義(専修大学商学部 教授)

評議員:江頭 憲治郎(早稲田大学大学院 法務研究科 教授)

評議員:木村 浩一郎(あらた監査法人 代表執行役)

評議員:久保田 政一(一般社団法人日本経済団体連合会 専務理事)

評議員:斉藤 惇(株式会社日本取引所グループ 取締役兼代表執行役グループCEO)

評議員:坂井 義清(日本電信電話株式会社 取締役 財務部門長)

評議員:高畑 恒一(住友商事株式会社 常務執行役員 フィナンシャル・リソースグループ長補佐 主計部長)

評議員:中島 茂(弁護士)

評議員:西村 義明(東海ゴム工業株式会社 代表取締役社長)

評議員:藤沼 亜起(日本公認会計士協会 相談役)

(評議員の就任日:2013年6月14日)

(評議員会議長の就任日:2013年6月28日)

2. 理事、監事(理事20名、監事2名)

理事長:釜 和明(株式会社IHI 代表取締役会長)

代表理事事務:都 正二(公益財団法人財務会計基準機構 事務局長)

理事:浅野 広視(一般社団法人日本損害保険協会 専務理事)

理事:天野 太道(有限責任監査法人トーマツ 包括代表(CEO))

理事:池上 玄(日本公認会計士協会 副会長)

理事：岩原 紳作（早稲田大学法学学術
院 教授）

理事：大草 透（三菱地所株式会社 常務
執行役員）

理事：岡田 譲治（三井物産株式会社 代
表取締役専務執行役員）

理事：大日方 隆（東京大学大学院経済
学研究科 教授）

理事：海津 政信（公益社団法人日本証
券アナリスト協会 理事）

理事：北村 敬子（中央大学商学部 教授）

理事：小柳 雅彦（日本証券業協会 常務
執行役 政策本部長）

理事：齋藤 真哉（横浜国立大学大学院
国際社会科学研究院 教授）

理事：静 正樹（株式会社東京証券取引
所 常務執行役員）

理事：徳物 文雄（社団法人生命保険協
会 副会長）

理事：野島 龍彦（三菱重工業株式会社
代表取締役常務執行役員）

理事：宮城 勉（日本商工会議所 常務理
事）

理事：宮崎 秀樹（日本たばこ産業株式
会社 取締役副社長）

理事：森 公高（日本公認会計士協会 副
会長）

理事：和田 耕志（一般社団法人全国銀
行協会 副会長兼専務理事）

監事：梶川 融（日本公認会計士協会 常
務理事）

監事：逆瀬 重郎（株式会社日立製作所
財務統括本部顧問）

（理事及び監事の就任日：2013年6月14日）

（理事長及び代表理事常務の就任日：2013
年6月17日）

3. 基準諮問会議委員（4名）

副議長：鈴木 昌治（有限責任監査法人ト

ーマツ パートナー）※

委員：小倉加奈子（有限責任あずさ監査
法人 パートナー）

委員：岸上 恵子（新日本有限責任監査
法人 シニアパートナー）

委員：服部 進睦（住友商事株式会社 総
合経理部長）

※鈴木 昌治氏は、定款第65 条第4 項の規
定に基づき、議長の指名により、副議長
に就任しました。

（就任日：2013年6月17日）

4. その他の委員会

○委員推薦・評価委員会（5名）

委員長：北村 敬子（中央大学商学部 教授）

委員：久保田政一（一般社団法人日本経
済団体連合会 専務理事）

委員：静 正樹（株式会社東京証券取引
所 常務執行役員）

委員：藤沼 亜起（日本公認会計士協会
相談役）

委員：森 公高（日本公認会計士協会 副
会長）

（就任日：2013年6月17日）

○適正手続監督委員会（6名）

委員長：齋藤 真哉（横浜国立大学大学院
国際社会科学研究院 教授）

委員：池上 玄（日本公認会計士協会 副
会長）

委員：大草 透（三菱地所株式会社 常務
執行役員）

委員：海津 政信（公益社団法人日本証
券アナリスト協会 理事）

委員：久保田政一（一般社団法人日本経
済団体連合会 専務理事）

委員：西村 義明（東海ゴム工業株式会
社 代表取締役社長）

（就任日：2013年6月17日）

7. お知らせ

1) 刊行物のご案内

- ① 機関誌「季刊 会計基準」第 41 号
(2013 年 6 月 28 日刊行)

【主な内容】

- ✓ 特集 1 : 会計基準アドバイザー・フォーラム(ASAF)の設置について
- ✓ 特集 2 : 企業会計基準委員会 新任委員の紹介
- ✓ Accounting SQUARE : “国際会計基準財団モニタリング・ボードの活動について” …河野 正道 国際会計基準財団モニタリング・ボード議長
- ✓ Chairman’s Voice : “第 1 回ASAF会議とIASBとの定期協議最終回を終えて” …西川 郁生 ASBJ委員長

- ② 有価証券報告書の作成要領 (平成 25 年 3 月期提出用)

本書では、2013 年 3 月期の有価証券報告書を作成する上での各項目の記載事例や根拠条文等のほか、作成上の留意点を掲載しています。

- ③ 四半期報告書の作成要領 (平成 25 年 6 月第 1 四半期提出用)

本書では、2013 年 6 月第 1 四半期の四半期報告書を作成する上での各項目の記載事例や根拠条文等のほか、作成上の留意点を掲載しています。

- ④ 国際財務報告基準(IFRS)2012 IFRS 財団公認日本語版

IASBが公表したIFRSの全内容を収録した公式出版物「International Financial Reporting Standards 2012」の日本語版。新基準である

IFRS第 10 号「連結財務諸表」、第 11 号「共同支配の取決め」、第 12 号「他の企業への関与の開示」、第 13 号「公正価値測定」や、改訂IAS第 19 号「従業員給付」など、2011 年の改定内容をフォローして 2012 年 1 月 1 日現在で公表されている基準書等を掲載している最新版であり、合計 3600 頁以上に及ぶ原書の全文が翻訳されています。

2010 年版から、原書の構成変更に合わせて、強制力のある要求事項(基準本文、適用指針)を収録したPart A と、強制力のない付属文書(結論の根拠、適用ガイダンス、設例等)を収録したPart Bとの 2 分冊となっています(分売不可)。

※ご購入は[こちら](#)。

※第 30 号より、FASF会員の皆様は、季刊会計基準に掲載される記事が[ホームページ\(会員専用サイト\)](#)よりご覧になることができます。どうぞご利用ください。

2) [開示実務新任者向けFASFセミナーのご案内](#)

FASFでは、従来から行っている有価証券報告書等の作成要領の改正ポイントに関するセミナーに加えて、開示実務に携わって 1 年目～2 年目の方を主な対象者とした標記セミナーを以下の日程で開催いたします(参加をご希望の方は、ホームページから申込みをお願いします(8 月 19 日(月)から申込み開始))。

日時	場所	時間
2013 年 9 月	大阪国際会	13 : 00～16 :

13日(金)	議場(大阪)	00
2013年9月 17日(火)	ベルサール 半蔵門(東京)	13:00~16: 00

3) ASBJオープン・セミナーのご案内

ASBJ/FASFでは、会員の皆様へ向けて、内外の会計基準の動向等をタイムリーにお知らせするため、ASBJオープン・セミナーを開催しております。

2013年度のセミナーとして、以下の日程で開催いたします(参加をご希望の方は、ホームページから申込みをお願いします(8月末日から申込み開始予定))。

日時	場所	時間(予定)
2013年9月 24日(火)	札幌証券取引 所(札幌)	13:30~15: 45
2013年9月 27日(金)	TKP天神シテ ィセンター (福岡)	13:30~15: 45
2013年9月 30日(月)	大阪国際会議 場(大阪)	13:30~16: 15
2013年10 月1日(火)	よみうりホー ル(東京)	13:00~15: 45
2013年10 月4日(金)	ダイテックサ カエ(名古屋)	13:30~16: 15

※開催時間については、今後変更される可能性があります。正式な時間については、今後掲載予定のホームページでご確認ください。

“ASBJ Newsletter” (第34号)

2013年8月20日発行

発行：企業会計基準委員会／

公益財団法人 財務会計基準機構

東京都千代田区内幸町2-2-2

富国生命ビル20階

禁無断転載

※ご意見・ご要望は下記までお寄せください。

E-mail：planning@asb.or.jp

Fax：03-5510-2712